

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

資料7

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
県北	意見交換者	担い手	<p>【雇用労力調整システムの構築が急務】 繁忙期の人員確保が困難で規模が維持できなく、特に頼る人の少ない新規就農者にとっては経営を軌道に乗せるうえでの致命傷となる。シルバー人材センターも人手不足で確保が困難。 また、人手が欲しいのが、早朝・短時間など、働く側にとって魅力的ではない。農福連携が有望とも思われるが、ノウハウがない。1日農業バイトアプリ「daywork」を活用し人材を確保している農家もいる。 ※長野県と山形県では、この既存のアプリを活用し、地域の大企業の社員を副業やボランティアとして農業者とマッチングする実証試験を実施している。</p>	<p>農業労働力を確保するため、農業者が無料で求人募集ができる「ふくしま農業求人サイト」を開設しており、求職者とのマッチングを支援しております。また、本年より、JAグループでは、1日農業バイトアプリ「daywork」を活用した人材確保支援が開始されましたので、状況に応じて、求人のためのツールを御活用願います。 また、農作業請負事業者を活用して、農繁期における農業労働力の確保・供給を行うモデル事業を実施しており、直接雇用することが難しい農業者等を支援する体制構築に向けた取組を行っております。 農福連携に関しては、コーディネーターを活用し、農業者と福祉事業所のマッチング支援を実施しており、障がい者が農作業に従事する取組がありますので、要望がある場合には、御相談願います。 農福連携に関しては、授産事業振興会の方がコーディネーターとなり3人作業、1人指導という形で人員派遣をする取組もあります。 農業のみの従事ではなく、半農半Xのような他分野との分業を維持しながら生活していける事例を提示していけるよう取組を進めてまいります。 雇用する側とされる側のスケジュールと業務内容のバランスのマッチングや人員不足を地域内で保管できるような取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
県北	意見交換者	担い手	<p>【地域おこし協力隊の制度を活用した新規就農者確保】 桑折町を中心に地域おこし協力隊の制度を活用した新規就農者確保の取組が成果が出てきており、このような取組を拡大すれば、新規就農者の安定確保につながると思う。</p>	<p>地域おこし協力隊の制度の活用事例について他地域と共有を図り、情報収集をしてまいります。</p>
県北	意見交換者	担い手	<p>【新規就農者の経営開始時の機械・施設等の投資に対する支援】 経営開始時には相当の資金を要するため、新規就農者の経営開始を資金面でサポートする制度があると就農促進につながると思う。</p>	<p>導入支援については、新規就農者の実態に合わせて紹介できる事業があるかもしれないので、農林事務所へご相談願います。</p>
県北	意見交換者	担い手	<p>【農業次世代人材投資資金等の事務軽減】 経営開始資金と就農準備資金の窓口が異なることから、提出書類や手続きが重複するので、一度に一つの窓口でできるようにならないか。 経営開始当初の新規就農者は、農作業と帳簿作成など非常に忙しい中で、重複するような事務を行うのが負担となっている。</p>	<p>就農準備資金の窓口は公社で、経営開始資金の窓口は市町村となっており、現行の国の事務手続き上、交付元も様式も異なることから各窓口に出していただいております。頂いた意見を踏まえ、事務手続きが負担とならないよう国に事務手続きの簡素化を求めてまいります。</p>
県北	意見交換者	流通・販売	<p>【ふくふくしめじの生産拡大・販売促進について】 ふくふくしめじを販売しているが、本しめじの熱烈的なファンが確実にいると感じている。各生産者の収穫・販売時期や販売場所を見える化(時期や販売箇所を示したマップなど)すれば、ファンが県内を回遊し、販売促進につながり、結果として生産振興にもつながるのではないかと。</p>	<p>県のYouTubeチャンネルでふくふくしめじを登録いただいている。今後もこのようなツールを使用して戦略的な情報発信を継続してまいります。</p>
県中	意見交換者	復興	<p>様々な分野での支援により、農産物等の風評も落ち着きを見せ始めたところではあるが、この度のALPS処理水の海洋放出により、風評被害が再発するのではないかと先行きが不安な面がある。</p>	<p>風評対策に向けたポスター、パンフレット、ホームページの作成などに、ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業を御活用願います。</p>

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
県中	意見交換者	復興	ふくしま森林再生事業は林業業界において、森林を復興するために必要不可欠な事業ですので継続していただきたい。	復興特別会計を活用した国の事業であることから、事業継続の要望を続けてまいります。なお、『復興・創生期間』後における東日本大震災からの復興の基本方針の変更について(令和3年3月9日閣議決定)で、第2期復興・創生期間の5年目に当たる令和7年度に、復興事業全体の在り方について見直しを行うこととなっております。
県中	意見交換者	担い手	市内の小・中学校で食育・農業体験等の場を増やすことにより農業に興味を持ってもらい、将来の担い手育成に繋がると考えている。	農業の魅力を子供たちに知ってもらう取組は未来の担い手確保に重要です。今後とも教育機関と連携した取組等を推進してまいります。
県中	意見交換者	担い手	林業の担い手は人力となる育林作業が過酷であり定着しにくい。国の採択を受けた実証事業として効率化と省力化に取り組んでおり、労働環境改善を図りたい。 また、林業へのイメージや関心を高めるため、小・中学校での林業体験などの場を増やしていただきたい。	実証事業「新たな林業」古殿モデルの取組への支援を継続するほか、育林作業の効率化、省力化のため、一貫作業への補助や技術支援に努めてまいります。 また、高校生林業見学会や小中学生の森林環境学習に引き続き取り組んでまいります。
県中	意見交換者	担い手	新規就農者確保のためには、成功事例だけでなく失敗事例を分析することで、定着率の向上につなげることができるのではないか。	自営就農に対し雇用就農の定着率が低い。今春オープンした福島県農業経営・就農支援センター等と連携し、事例を解析するなどして新規就農者確保に努めてまいります。
県中	意見交換者	生産基盤	「気象に左右されない施設化を進めるとともに、スマート農業などを導入」という取組みについて、施設化の難しい作物に対してはどのように考えているのか。 また、スマート農業の導入に対して、コスト面で難しい生産者の方が多いと思うため、導入し易い仕組みを検討願う。	果樹など施設化が困難な作物については、人為的な管理がし易く早期に安定した収量が見込まれる栽培法(ナシジョイント栽培やブドウ根域制限栽培)等の普及を進めております。また、自作可能で安価なセンサーの導入を始め、担い手の省力化や規模拡大、環境に配慮した農業の実践などに活用可能な補助事業の紹介などによりスマート農業の推進を図ってまいります。
県中	意見交換者	流通・販売	地元食材を用いて学校給食を通じた食育について、どのような取組をしたのか。	学校給食等において県産農林水産物を使ったメニューを提供するための支援を始め、県職員及び食育実践サポーターが小・中学校等に出向いて地域の食文化を伝承する活動や食生活を改善するなど食育活動と併せて県産農産物等の魅力をPRする出前講座等に取り組みました。 学校給食において、県内産の旬の野菜を使用でき、減塩に配慮した「ふくしま健康応援メニュー」を9月から3月の毎月19日の食育の日に提供するとともに併せて食育指導を実施しました。
県中	意見交換者	流通・販売	丸太の価格が下落したため、バイオマス燃料用として安定的に受入れられている。本来は林地残材を燃料用にすべきところ、丸太をチップ等に加工し、燃料にするのは残念である。当町内に誰もが簡単に丸太を納品できるような仕組み作りができれば、山林所有者にも還元され、山林も綺麗になり森林整備は進むと考える。	木材の利用拡大が重要と考えております。県産材の建築物での利活用を促進するため、事業者等と自治体による建築物木材利用促進協定の締結を推進し、民間建築物への利用拡大を図ってまいります。
県中	意見交換者	流通・販売	県産農産物あるいは加工品の輸出制限について、先日、EUは解除されたが、未だに輸出制限をかけている国に対しての輸出解除に向けた働きかけを要望する。	要望のとおり制限が解除されていない国及び地域に対しては、引き続き、科学的根拠に基づいた正確な情報や県産農林水産物の魅力の発信に取り組むとともに、輸入規制解除に向けた働きかけを続けてまいります。
県中	意見交換者	農山漁村	中山間地域の田村地方は、畑の比率が高く、震災以降基幹作物であった「葉たばこ」の廃作が進み、優良畑が遊休化が急激に進み、ピーマンなどの取組も行われてはいるが、「葉たばこ」に代わる土地利用型作物を見出せておらず、その取組は急務となっている。現在、さつまいもの産地化を目指して、取り組んでいる。	さつまいもは田村市の推進品目であり、安定的に生産できるよう、農業普及所としても、栽培に適したほ場条件や効果的な施肥体系の確認を行い、当地域における栽培技術の確立を進めてまいります。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
県中	意見交換者	農山漁村	食の安全・安心に取り組みたく西洋野菜を無農薬で栽培している。大量に生産できるものではなく市場流通には向かないが、良質な農産物であれば少量多品目を欲しいといったニーズはあり、少しずつではあるが消費者に伝わってきている。このような取り組みを推進しつつ、PRを続けていきたいと考えている。	西洋野菜販路拡大のためのポスター、パンフレット、ホームページの作成などに、ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業を御活用願います。
県中	意見交換者	農山漁村	6次化の商品開発には、作り手目線は大事であるが、売り手目線はもっと大事であり、作るより売ることの方がずっと難しい。県には県産品を取り上げて後押しする体制作りを強化していただきたい。 また、完成した6次化商品を何らかの形でノベルティ配布してもらえないか要望する。	県では、ふくしま地域産業6次化戦略に基づき、売れる商品づくりの支援や仲間づくりなど、総合的な支援を行っています。 特に、販路拡大に向けては「ふくしま満天堂」ブランドを立ち上げており、昨年はその表彰事業において過去最高の応募数を記録しました。その審査員の中にはバイヤー関係者もおおり、高評価な商品はバイヤー自ら取扱いを希望する商品も出ておりますので、県の後押しという観点で満天堂の活用をご検討いただければと思います。
県中	意見交換者	その他	さつまいもの産地化に向けた関係機関の技術指導を強化していただきたい。	田村市等と連携しながら、推進に向けて技術支援を行ってまいります。
県中	意見交換者	その他	各生産部会を中心に栽培技術の統一と向上を図り、市場から信頼される産地づくりを行う上で、県には技術指導を行っていただいているが、更なる支援を願う。	JA等の各生産部会において、農作物の生育状況や経過を踏まえ、栽培講習会や現地指導会を通じて、旬な情報を提供しています。また、近年は天候不順による気象災害も多く、安定生産や品質向上を維持するため必要な施設補助等についての支援や産地を維持するため課題となる労力不足解消に向けた省力技術等モデル実証ほを設置し、スマート農業に係る紹介を行っております。
県中	意見交換者	その他	農家の経費が上がっているにもかかわらず、農作物の単価が上がらない事が問題であり、経費に見合った単価が設定されるシステムを構築していただきたい。	GAP認証や特別栽培農産物等のこだわりの農産物を上乗せ価格や市場価格を上回る一定額で定期購入していただけるような意識の高い消費者、消費者団体、生協などへの販売について、イベントへの参加、東京等消費地での商談会、ホームページ・SNSでの発信などに、ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業を御活用願います。 物価高騰、資材高騰による作物への価格転嫁においては、食料安全保障の観点から国・専門家を中心に農産物への価格転嫁に対する消費者の理解が得られるような施策構築の議論がされているところです。県としましても福島ならではの付加価値の向上を図り、全国における優位性を高めていくため、ブランド力強化推進方針を策定し、市場調査に基づく産地振興を推進するなど、本県農林水産物の強みを更に磨き上げていく取組を支援してまいります。また、消費者の方へ県産農産物の魅力やブランド力等の付加価値に対し、御理解をいただけるように情報発信等の取組を継続してまいります。
県中	意見交換者	その他	CO2問題で企業からは林業に対して注目が集まっている。これを機にカーボンオフセットできる山林を作り、地域の山林を整備して所有者に還元していきたいと考えている。	「伐って使って植え育てる」森林の循環利用である「森林整備」の拡大は、カーボンオフセット、SDGsに直結するものであり、今後も積極的な取組をお願い致します。
県中	意見交換者	その他	県では「TOKIO」の活用をポスターだけでなく、それ以外にも活用することで、福島県だからこその企画としてPR効果をあげていただきたい。	TOKIOの活用に関しては、プロダクションとの関係があるため、ご意見として賜ります。しかし、農産物を広く知っていただく取組としては、全県的に動画配信などを行いPRを進めております。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
県南	意見交換者	復興	原発事故から12年が経過したが、林業の活性化にはまだ時間がかかることから、「ふくしま森林再生事業」や「広葉樹林再生事業」を福島県の特殊事情と位置付けて継続すべき。	事業の継続要望については意見として承ります。なお、『復興・創生期間』後における東日本大震災からの復興の基本方針の変更について(令和3年3月9日閣議決定)で、第2期復興・創生期間の5年目に当たる令和7年度に、復興事業全体の在り方について見直しを行うこととなっております。一方、森林整備は長期的な取組が重要であるため、事業の成果を一過性のものにしないよう森林経営計画の作成などに積極的に取り組むようお願い致します。
県南	意見交換者	担い手	就農前の相談段階から就農後にかけて約3~5年間は営農支援や資金面について充実しているが、その後のフォローアップはどのようなになっているのか。	農業経営改善計画書の作成を支援し、認定農業者として経営発展を目指して行けるよう支援しているところです。
県南	意見交換者	担い手	新設された就農に関するワンストップ・ワンフロア窓口は、就農希望者や農業者にどのような利点があり、どこが情報を共有しているのか。	県農業経営・就農支援センターは農林事務所にサテライト窓口を設置しており、相談内容を共有すると共に、必要に応じて中小企業診断士や税理士などの専門家の支援を無料で受けることができます。
県南	意見交換者	担い手	林業就労者は減少の一途をたどっており、後継者の確保や育成に係る取組が急務である。	林業を他産業と比較して魅力あるものにすることが重要であり、事業量の確保による経営の安定、高性能林業機械などの導入による効率化と労働環境の改善、給与や福利厚生などの改善が必要と考えております。就労者確保にあたっては、県の支援だけでなく、林業事業体自らも改善に取り組むとともに、山仕事の魅力発信などに積極的に取り組むようお願いいたします。
県南	意見交換者	流通・販売	農作物のPRとブランド化を進めて欲しい。	県といたしましては、県産農林水産物の付加価値の向上を図り、全国における優位性を高めていくため、ブランド力強化推進方針を策定し、市場調査に基づく産地振興を推進するなど、県産農林水産物の強みを更に磨き上げていく取組を支援することにより、ブランド力の強化を進めております。また、県南地方においても、地域性が高く、ブランド化により販路拡大を目指すべき農林産物があるため、取組を進めたい。併せて、地域ならではの農産物について6次化の取組みなども支援してまいります。
県南	意見交換者	流通・販売	県内産畜産食肉の県内屠畜及び加工輸出に向け、海外輸出が可能な衛生基準を備えた施設(屠畜場)の整備を要望する。他県より早く整備できれば他県からの出荷も呼び込めるのではないのか。	国内でも海外輸出対応の屠畜場は限られており、現状では各地から生体家畜を運び込んで処理している状況であるため、ご意見として承ります。
県南	意見交換者	流通・販売	森林整備において高性能林業機械による生産性向上を図っているが、時期によっては原木市場が満杯で受け入れ不可となる場合があり、計画的な木材の生産・販売に支障をきたしている。市場流通の調整・円滑化を要望したい。	森林整備事業は事業期間が限られていることから、市場動向を踏まえない素材生産とならざるを得ない面がある。出材時期や量について出荷先と十分に事前調整をお願いします。
県南	意見交換者	生産	中小・家族経営体なども儲かる農林業を目指す、とあるが、具体的にはどのような取り組みを計画しているのか。	技術指導、スマート農業技術の導入、集落営農・共同活動の推進、地域の特性に応じた作物、収益性の高い品目の導入などについて、個々の経営体の状況に応じて支援してまいります。
県南	意見交換者	生産	非主食用米への転換対策として、国では子実用とうもろこしの導入・定着を推進しているが、県としてはどう考えるのか。	子実用とうもろこしについては、畜産経営における自給飼料の生産・利用を高める目的で、今年度から県内でモデル栽培実証・給与実証を通じて成果や課題をとりまとめることとしております。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
県南	意見交換者	生産	食料安全保障について、県南地域での具体的な計画はあるのか。	全県的な取組としては、本県のポテンシャルを活かした供給量拡大・収益力向上による経営の安定化を目指し、海外からの輸入に依存している大豆・麦・そば・飼料作物の生産性向上・生産拡大の取組を支援しています。 県南地域においても県の取組に基づき実施してまいります。
県南	意見交換者	生産	スギ等を伐採後、植林をせず放置されている山林が多く見受けられるようになってきた。森林が持つ多面的機能の維持・増進、及び将来の優良材生産の観点から、再生林の推進について、行政からの指導をお願いする。	森林資源構成の平準化や主伐後の再生林が課題となっていることから、県では皆伐・再生林の実施に対し、ヘクタール当たり上限300万円での補助事業を実施しています。
県南	意見交換者	生産	令和4年度の県南の計画や実績には、スマート農業やICT導入については設定がない。	ICTの活用を始めとするスマート農業技術の導入については、具体的な数値目標を掲げていないが、水稻の可変施肥田植機の現地実証やICTを導入した複合制御モデルハウスでの実証、通い農業システムの導入支援などを行っているところであり、引き続き積極的に推進してまいります。
県南	意見交換者	農山漁村	農業に対する理解促進のため、消費者等による農業体験や情報発信を推進してほしい。	農業体験などのグリーン・ツーリズムに取り組む関係機関や団体からなる「しらかわ広域連携グリーン・ツーリズム推進協議会」の活動として体験メニューの作成や農家民宿の広報など、受入活動の組織的なPRに努めます。 また、このような取組や地域農林業に関する情報発信を強化するため、昨年度からYouTube動画の作成や公式インスタグラムなど、多様な広報チャンネルを使って情報発信に努めております。
県南	意見交換者	その他	ここ数年霜の被害が多くなり、防霜対策用の資材代や灯油、電気代の高騰に対して支援を望む。また、過去に自己資金で整備した防風ファン等の再整備についても支援をお願いしたい。	凍霜害については、事前・事後における技術支援を行うとともに、一定規模以上の被害発生時に営農継続を支援するための対策事業を実施しています。 物価高騰に対しては、農林事務所農業振興普及部に相談窓口を設置しており、各種支援事業が該当する場合がありますので、ご相談ください。
県南	意見交換者	その他	各種支援や緊急対策等の施策について、企画立案から実行に至るまでのスピード感が、現場と差があるように思う。	家畜飼料や肥料の高騰への対策や、凍霜害への対応など、迅速な対応に努めているところだが、行政の仕組み上、予算措置には議会の承認手続きが必要であることをご理解願います。
会津	意見交換者	担い手	新規就農者の確保のため、県内外へアピールはどのように行っているのかを知りたい。	県内外へPRのために、例えば、就農ポータルサイトやSNSを活用した情報発信、首都圏での新規就農フェア等への参画、県内各地域での就農相談会の開催等を行っています。
会津	意見交換者	担い手	当組合では、現場作業員を募集しても就業希望者がいない状況が続いている。林業アカデミーふくしまが開講したので、組合に就職を希望する方が現れることを期待している。	高校生林業見学会の開催等により、若者に地域林業への関心を深めてもらうとともに、林業アカデミーふくしま研修生の管内林業事業体へのインターンシップ受け入れ等を推進し、新規就業者確保を図っていきます。
会津	意見交換者	担い手	新規就農する方の負担を軽減するため、機械のシェアリングができるとよい。	機械整備の負担軽減のため、地域の担い手や営農組織等との農業機械の共同利用化や補助事業の活用について、地域計画等の検討の場において、支援してまいります。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
会津	意見交換者	担い手	プロの集団を育成する仕組みづくりの必要性を感じている。林業アカデミーや清酒アカデミーの様なものを農業分野でも作るべきであり、会津は適した地域だと考えている。また、地産地消の推進に向けた流通コーディネーターの育成も必要であると思う。	地産地消の推進については、直売所・道の駅のネットワークを強化する取組などを行っております。 また、県では、矢吹町に農業総合センター農業短期大学校(アグリカレッジ福島)を設置し、専修学校機能を有した2年間となる農業経営学部と就農希望者から既農業者まで技術習得を支援する研修部を運営しております。また、スマート農業等の技術習得を推進するため、新たな研修施設の整備も行っているところです。
会津	意見交換者	担い手	女性が活躍できる社会実現に向け活動を行っている。農業分野においても意見交換や交流ができる場があれば良いと考えているので、県や会津農林事務所にその様な機会を作っていただきたい。	近年、女性の指導農業士、認定農業者及び新規就農者等が増加しており、JAには女性部もあることから、御意見を参考に、検討して参ります。 また、女性の積極的な経営への参画推進や女性リーダー育成のための研修会を毎年開催し、意見交換等を実施しているところであり、今後もこの取組を継続してまいります。
会津	その他	担い手	米の産地である会津において、水稻に係る新規就農者の確保、育成が重要な課題となっており、広大な農地を継承していくためにも、水稻部門での新規就農者及び次世代を担う農業者の支援を拡充していただきたい。	本年度設立された福島県農業経営・就農支援センター等の関係機関・団体と連携し、就農・定着から経営発展まで一元的に支援していきます。また、青年農業者組織である両沼農村青年クラブのプロジェクト活動や勉強会等への支援を通じて、経営力・技術力の向上のみならず地域の若手農業者同士の連携構築についても支援を行っていきます。
会津	意見交換者	生産基盤	特に山間部において、農地の請負ができる方が少なく、農地の維持が難しい。 ある程度の規模を請け負うことができる生産者を確保する必要があり、そのための支援をしていくべき。	今後、地域の農地の維持、適切な利用がされなくなる懸念があることから、現在、各市町村で将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の作成を進めています。県はこれら地域計画作成の支援を行うとともに、農地中間管理事業を活用した農地の集約・集積化を推進しております。
会津	意見交換者	生産基盤	用水路など農業施設の老朽化が進んでおり、維持管理が課題である。農家の方の負担を軽減できるように、補助事業で施設をなおしていきたい。	機能保全計画等を策定し、計画的な予防保全、補修及び更新をお願いします。 補修事業については、施設の規模等により事業が異なりますので、市町村の農林担当課や農林事務所に相談願います。
会津	意見交換者	生産基盤	農地の大区画化や水田の汎用化を進めるにあたって、何ヘクタール以上等の条件があるのか、また、希望者の申請先等を教えてほしい。	事業により面積要件が異なりますので市町村の事業担当へご相談ください。また、申請先等は市町村の農林担当課となります。
会津	意見交換者	流通・販売	GAP認証において、消費者や流通関係者への認知度向上が進まず、今後、生産者部会の認証継続で消極的となる懸念がある(手間と所得のバランス)。	県は、令和3年より12年まで、ふくしま。GAPチャレンジ2nd STAGEとし、JAグループ福島とともに、GAPによる持続可能な農業の実現を目指しています。その中で、GAP認証取得の拡大と併せ、消費者等への情報発信の強化を重点的に取り組むこととしています。農林事務所では、いただきますキャンペーン事業により、道の駅や宿泊施設等において消費者に向けたPRイベントを行い、GAPの理解促進を図っています。 また、認証GAP取得者の主な課題として、書類作成の手間が大変であることが上げられています。今年度よりGAP推進員の配置等により指導・支援体制を強化し、個人や団体認証の取得拡大に向けきめ細かな支援を行い、GAPの取組や認証取得の負担軽減に努めております。 一方、所得については、認証取得者のアンケート結果に、長年取り組むことにより、所得向上につながったとの回答が36%あったことから、生産コストの削減や効率化等、経営改善が期待されます。さらに、生産部会等の団体で取り組むことにより、新たな販路の確保や産地のPRとなり、所得向上にもつながることが期待されるため、引き続きJA生産部会など団体認証を中心にGAP認証の取組推進を図っていきます。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
会津	意見交換者	流通・販売	風評払拭の取組みが予算縮小となる中で、「ふくしまプライド。」も例外ではないが、風評払拭の取組は、県以外の団体、生産者でも重要な取組であり、今後も予算維持すべき。	今後も予算維持できるよう国へ要求してまいります。
会津	意見交換者	流通・販売	福島県全体としてのブランド化だけでなく、会津独自のブランド化を確立し、競争力を強化していくべき。	福島県ブランド力強化推進方針に基づき、品目ごとの高付加価値化や生産力強化、戦略的情報発信などに取り組んでいるところであり、御意見のとおり、引き続き「会津ならではの」ブランド力強化や魅力の向上を図ってまいります。
会津	意見交換者	流通・販売	野菜や果物の消費量を公表できないか。例えば、福島県産桃の消費量1位というアピールができれば、県民の誇りにつながるのではないかとと思う。	総務省統計局による家計調査の結果によれば、福島市の桃の消費量・消費金額はともに全国1位であり、テレビでのニュース化がされているようです。今後とも、桃をはじめとした県産青果物の販売促進に努めてまいります。
会津	意見交換者	流通・販売	農産物の規格外品は、宿泊施設等からの需要はあるが、情報が繋がらないため一部しか利用されていない。そのような情報を生産者と実需者の間でやり取りできる体制があるとよいと考えている。	流通事業者と生産者等の各種マッチング事業に取り組んでいるところであり、その中で規格外品を個別に取り扱うことは可能です。
会津	意見交換者	流通・販売	ご飯が売れるようにするためには、ご飯に合ったおかずやお惣菜を作るのが良い。そういう物を提供できる環境を作ることで、ご飯も売れるし、もうかるようになると思うので、そのような事業をどんどん進めてほしい。	米の消費拡大につきましては、トップセールスやテレビCMなどによるPR、米粉の活用、食育の取組などを行っています。会津農林事務所では、動画によるPRや消費拡大を図るキャンペーンなどを行っているところですが、御意見を参考しながら、ご飯に合った6次化商品に取り組む事業者の支援などを行っています。
会津	意見交換者	流通・販売	「福、笑い」について、会津・中通り・浜通りで品質が異なるため、会津ならではの販売戦略、小さなブランド化に向けた取組を検討してほしい。	令和6年産の「福、笑い」生産・販売戦略については、現在県オリジナル米生産販売推進本部会議において検討しております。
会津	意見交換者	流通・販売	スーパーに地場野菜コーナーを設置しており、順調に販売額も増加しているが、効果的なPRをもっと実施すべきと考えている。「おいしさ」は大前提であるが、差別化、付加価値化が必要であると思う。	御意見のとおり、販路拡大のため、優れた品種などの高付加価値化、希少性などの差別化、広報やイベントの集中などが有効と考えており、今後も、「会津ならではの」の更なる付加価値を創出し、販売力強化やブランド力の向上に取り組んでいきます。
会津	意見交換者	生産	高田梅は需要があるが、生産量が少ない状況にあるため、増産に向けた生産振興を図ってほしい。	高田梅は地域の特産作物として会津を象徴する重要な品目であり、JA会津よつば 果樹産地構造改革計画においても増産を計画しています。また、地元スーパーにおいても加工品開発に向け高田梅を確保する動きがあることから、関係者、関係機関・団体と連携して生産拡大の支援をしていきます。
会津	意見交換者	生産	中山間地域において、米に代わる作物の栽培支援があると良いと思う。	中山間地域は平場と比較して、栽培環境で不利な点が多いことから、担い手の確保及び水稻に代わる地域の気候、農地に適合した農作物の導入、栽培支援を地域と話し合いながら支援していきます。当地区の代表的な品目としてカスミソウやハウスキュウリ、アスパラガス、トマトなど集約型の園芸品目が定着しており、それらへの導入支援を今後も実施していきます。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
会津	その他	生産	<p>農業所得や食料自給率・自給力の向上を図るためには、適地適作の視点に立って地域特性に応じた生産振興を図る必要があると考える。</p> <p>このため、本県稲作をけん引できるポテンシャルを有する会津地方においては、本県産米のブランド力向上に向け、グリーンな栽培体系の普及拡大をより一層推進するとともに、会津産米については実需者からの引き合いが強い状況にあることから、市町村に提示する主食用米の生産数量の目安についても需要に応じた米生産が推進できるように考慮すべきと考える。</p> <p>また、会津地方において定着に至っていない麦・大豆の生産振興を進めるに当たっては、収益性の向上が見込める品種や栽培体系等について調査研究し、普及拡大に向けた取組を進めることが必要であると考えている。</p>	<p>1 本県産米のブランド力向上に向けたグリーンな栽培体系の普及拡大について</p> <p>喜多方地域等では、みどりの食料システム戦略推進交付金のグリーンな栽培体系への転換サポートを活用して、環境にやさしく省力的な栽培体系(グリーンな栽培体系)を実証しています。この実証の一環で、現地検討会の開催や栽培マニュアルの作成を通して、農業者にグリーンな栽培体系を広く周知し、普及拡大を図っています。当地域においてグリーンな栽培体系が広く普及し、環境にやさしい農業を実践することで、会津産米のブランド力向上の一助になるものと考えています</p> <p>2 市町村に提示する主食用米の生産数量の目安について</p> <p>農業者の減少により、一経営体の経営面積が拡大している中で、主食用米のみの経営では米価下落時の影響が大きく、また農作業が一定の時期に集中してしまいます。このような観点から、会津地方であっても主食用米以外への作付け転換を推進し、経営安定を図る必要があります。</p> <p>3 麦・大豆の生産振興について</p> <p>麦や大豆については、面積当たりの労働時間が水稲より少なく、経営規模拡大に向けた作業分散を図れることから、大規模経営体を中心に作付け推進を図ってまいります。しかし、排水対策などの栽培上の課題もあるため、県内全ての農林事務所農業振興普及部・農業普及所に畑作物のモデル地区を設定し、当該作物の収量や品質の向上に向けた実証を行っています。また、地域における需要に対応するため、加工適性の高い品種の導入や、地産地消を拡大するための検討も進めています。</p>
会津	意見交換者	農山漁村	<p>豚熱によりイノシシの数は一時的に減少しているが、長野県や岐阜県の事例をみると、10年後には一気に増える可能性がある。手遅れになる前に早めの対策をお願いしたい。</p>	<p>各市町村において被害防止計画を策定し、鳥獣被害対策防止総合対策交付金等の活用やモデル地区の重点支援によりイノシシ対策に取り組んできた結果、被害低減が図られたところであります。しかし、イノシシの発生頭数の減少については一過性の状況であると捉え、引き続き捕獲による頭数管理や藪払い等の環境整備、侵入防止柵の設置等により、総合的な対策を行えるよう支援してまいります。</p>
会津	意見交換者	農山漁村	<p>中山間地域直接支払制度を活用して、農道、水路の維持管理と、不作付地の保安全管理作業を実施しているが、高齢化により集落で作業を完結することができない。その様な集落が増えている。対策が必要であると考えている。</p>	<p>地域ぐるみでの農道や水路の維持、保全につきましては、中山間地域等直接支払交付金等により支援を行うとともに、活動の継続に向けて、都市住民など地域外の多様な人材の確保や、組織の広域化などを進めてまいります。</p>
会津	意見交換者	農山漁村	<p>鳥獣害の被害が深刻で、高齢者を中心に作付けを中止する農業者が増えている状況のため、重点的な対策を実施してほしい。</p>	<p>会津地方有害鳥獣被害防止対策担当者会議を年2回程度開催し、市町村域を越えた広域連携を強化するとともに、被害対策における課題解決に向けた研修会を行っています。また、農林事務所農業振興普及部・農業普及所毎に鳥獣被害防止対策モデル集落を設置し、農業者個別の対策によらない集落ぐるみによる対策を支援しており、今後も継続していく予定です。</p>
会津	意見交換者	その他	<p>基本目標の「もうかる」について、具体的な方策はどのようなものか知りたい。</p>	<p>個々の農業者毎に経営状況が異なるため、画一的な対応ではなく状況に応じた改善策の提案(収益性の高い作物の導入、地域住民の集落営農への参画、6次化の実践等)や県産農産物のブランド力強化や魅力の情報発信による販路拡大等により「もうかる」農林水産業の実現に向け支援を行っております。</p>

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
会津	意見交換者	その他	基本目標の「もうかる」について、対象が県全体なのか地域なのか個人なのかが分かりにくい、「もうかる」ことは非常に重要であると考えている。	基本目標の「もうかる」には、経営を継続していくためには、生産者の所得向上が必要であること、そして、将来の担い手である子どもたちに職業として選んでもらえる魅力ある産業とする意味が込められています。目標の実現に向け、県全体、地域、生産者、それぞれのニーズを対象として各種施策の振興に取り組んでまいります。
南会津	意見交換者	担い手	南会津地方の新規就農者担い手の確保について、会議を2回開催したとあるが、会議の結果を踏まえた対応策または具体策などは見いだされたか。	南会津地方の主要な園芸作物については、研修支援体制が整備されており、これらの機関を活用して、新規就農者の確保にあたることに加え、新たに配置された「就農コーディネーター」の活動促進を図っております。
南会津	意見交換者	担い手	福島県農林水産業振興計画に基づき令和4年度に実現することの実績について、多様な担い手の確保・育成のうち、新規就農者の目標数が240名に対して、334名とあるが、南会津地域は、目標値12人に対して8人と達成していないのは、分析されたか。	令和4年度の新規就農者数が少ない要因として、南郷トマト等では、新規就農研修に1～2年程度の期間を要するが、新型コロナウイルス感染症により、就農相談や研修等の対応が困難だった時期の新規就農者であるためと考えています。
南会津	意見交換者	担い手	冬にスキー場で就農相談会を開催したとあるが、SNSなどでの情報発信をしているのか。	相談会開催の準備開始が遅くなり、Instagramでお知らせしたが情報発信は十分でなかった。R5年度の就農相談会については、情報発信を充実させたいと思います。
南会津	意見交換者	担い手	農業経営は、現金主義が基本と考えているが、農業経営に困らないよう(キャッシュフローに着目して)現金が残るような経営指導が必要なのではないか。	農業経営の発展を目指す農家や課題を抱える農家に対し、経営情報の収集、整理、分析による経営改善能力の向上を支援してまいります。 また、県では、他産業並みの農業所得を安定的に確保できる経営体の育成を目指し、本年4月に福島県農業経営・就農支援センターを設置し、農業者の経営改善への支援を強化することとしています。
南会津	意見交換者	担い手	担い手の呼び込みとして、冬が好き、重機(除雪車)が好き、退職した人などのこんな人が来てくれたらなという人にターゲットを絞って戦略を練ったかどうか。	交流人口をターゲットにスキー場や道の駅などで、南会津を知り、興味のある方を想定した就農相談会を開催している。参考としてご意見を承ります。
南会津	意見交換者	担い手	農業短期大学校では、専門や販売戦略以外に、溶接や左官の技術、マーケティングやパッケージなど、いろいろなトラブルや実際の経営に必要な技術を学べるとよい。	農業短期大学校では、アーク溶接を始め日商簿記などの資格や大型特殊自動車免許などの免許を取得できます。 また、カリキュラムの中で、マーケティングや食品加工に加え、GAPやスマート農業などの農業経営に必要な実践的な知識・技術を、座学や演習により習得できる環境となっています。
南会津	意見交換者	生産基盤	堰の管理は、一銭にもならなく、管理している人が高齢化し、10年20年後の管理を考えると、大きな問題となる。農家ではやりきれないので、行政でやるか、もしくは色々な方々の力を借りないといけない。	都市住民等地域外の方々と農村地域を結び付け、交流活動を通じて農業・農村の保全、地域コミュニティの維持・活性化などを行うモデル的な取組への支援を継続するとともに、他地域への普及に努めます。 農業水利施設の維持管理について、施設の更新や管理の高度化(自動化、電動化)を推進すべく関係機関と調整を行うと共に管理体制についても地域の実態に沿った体制の構築を推進します。
南会津	意見交換者	生産基盤	昭和40年代の拡大造林の時代に植林した木を伐採しようとする、当時の林道は、現在の大型トラックにはアールがきつく、路肩も痛んでおり、改良が必要であるため、振興計画の中でも位置づけし研究してほしい。	車両の大型化等により、開設時の構造では対応できなくなっている既設の林道の改良については、団体営事業(林道改良事業)が活用できる場合があることから、町を通じて相談願います。 また、林内路網の整備については、農林水産業振興計画において推進することとしています。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
南会津	意見交換者	生産基盤	ICTについて、地上測量でないと成果品として認められず、ドローン測量が認められていない。森林整備は広範囲となるため、効率的な作業のため他県に先駆けて認めるべきではないか。	造林補助事業など森林整備に必要な周囲測量の省力化に係る意見等と思われます。 ドローン測量は、実証段階であり、全国で実証が進められているところです。 ICTについては、人工衛星を活用した測量を国が補助事業で認めており、県でも人工衛星を活用した測量精度の基準等を「福島県森林整備事業取扱要領の一部改正について」(令和5年7月13日付け5森第1280号福島県農林水産部長通知)により整備し、ICTの活用に取り組んでいます。
南会津	意見交換者	生産基盤	スマート農業の導入を促進することで、労務作業を省力化でき、少人数でも田畑を管理できないか。	スマート農業については、経験や勘に頼らず安定・省力生産が可能となることから、経営内容や地域の実情に応じた技術の導入を進めていくことが重要です。 引き続き、先端技術の実証を通して、技術の有用性や収益性について見える化を図るとともに、新技術に関する情報提供や各種補助事業の活用を推進することにより、一層の普及に努めてまいります。
南会津	意見交換者	流通・販売	野菜は単価が安く、直売所では、季節には量がだぶつき、価格競争になってしまう。単価を下げないように働きかけている。	再生産できる価格設定は重要であり、取組を参考にさせていただきます。
南会津	意見交換者	流通・販売	県ブランド米「福、笑い」の販売を勧められたが地域では「福、笑い」の生産をしていないため、私としては地元産を活かし、地元の所得向上を図りたいと思っており取り扱わなかった。	昨年度の意見交換会及び県農業振興審議会の委員からも同様の発言があったため、本庁と調整し、南会津地方での栽培特性を確認する試験栽培を実施しております。
南会津	意見交換者	流通・販売	自分はfrisbee業界の仲間に売っているが、生産物をターゲットを決めてつながりを生むように販売するのが効果的なのではないか。 また、海外に販売するのも大事だが、福島県出身者に食べてもらうなど、全国の福島県人会を有効に活用すべきではないか。	一例として、東海県人会の会報に県トップブランド米「福、笑い」と県オリジナルいちご「ゆうやけベリー」の魅力をPRする記事を掲載するなど、購買につながる情報提供を各地の県人会向けに機会あるごとに取り組んでおります。
南会津	意見交換者	流通・販売	福島ブランドも大切だが、南会津の米やトマトなどの農産物は、非常に質が良いため、南会津ブランドで売り出すことも検討願いたい。	ものにより量や希少性を検討しながらマーケティングの方向性を見定める必要があると思うが、JA等との販売戦略打合せにおいて参考にさせていただきます。 また、各産地ならではの付加価値の向上を図り、全国における優位性を高めていくため、市場調査に基づく産地振興を推進するなど、本県農林水産物の強みを更に磨き上げていく取組を支援してまいります。
南会津	意見交換者	流通・販売	南郷トマト生産組合では、令和6年度に全ての組合員がGAPを取得する予定である。全員の取得は全国でもあまり例がないと思うので、宣伝をお願いしたい。	某量販店で、期間限定のGAPコーナーが常設となったと新聞に掲載されていました。 南郷トマト生産者が全員GAPを取得し、GAP農場で生産した作物として売り出すのは、とても強みになると考えております。
南会津	意見交換者	流通・販売	会社ではフェイスブックやInstagramをやっており、SNSでのフォロワーは、商品や南会津のことが好きかもしれない。南会津の宿泊施設の宿泊者、スキー客、すべて捕まえるぐらいのつもりで取り組んでどうか。農業サイドから食い込んでいけるか、可能性があると思う。	Instagramでの情報発信や、道の駅や宿泊施設で実施しているおいしいふくしまいただきますキャンペーンなどでは、南会津のファンを増やすよう取り組んでいます。いただいた御意見を参考にさせていただきます。
南会津	意見交換者	生産	只見町では特にナラ枯れが問題になっており、ナラ枯れの森は再生しない。積雪が多く、根むくれをして治山事業も繰り返しとなるように悪循環である。	重要度が高い森林や人身事故等二次被害が危惧される場所等で行うナラ枯れの防除の取組に対し支援しています。 今後もナラ林の更新や樹種転換のための森林整備への支援も含め、ナラ枯れの被害対策に努めていきます。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
南会津	意見交換者	農山漁村	鳥獣被害が深刻な問題となるが、熊やイノシシ、サルも生きていくのに真剣なため、捕まえて食べるなど猟友会を活用してはどうか。	イノシシについては、個体数が増加し、農業被害や生活被害が生じていることから、猟友会に個体数調整捕獲を委託しております。引き続き、猟友会と連携しながら、野生鳥獣対策に取り組んでまいります。
南会津	意見交換者	農山漁村	離農により田畑が荒廃し、耕作放棄地となることで、鳥獣被害がさらに多くなると思う。県と町が積極的に支援して欲しい。	担い手等による遊休農地の再生を進めるとともに、維持管理が困難な農地につきましては、鳥獣緩衝帯や放牧、省力作物の導入など地域の状況に応じた農地の利活用を推進しております。 また、県では、今後も侵入防護柵設置や有害捕獲等、地域の実状に合った鳥獣被害対策を推進してまいります。また、鳥獣被害防止総合対策交付金による財政支援もありますので、詳しくはお近くの市町村や農林事務所にお問い合わせください。
南会津	意見交換者	その他	今の若者は、テレビも見ないし新聞も読まないため、積極的にSNSを活用し、若者への情報発信をやるべき。	県では、農林水産部の公式YouTubeや事務所では、Instagramなどで、地域の情報を積極的に発信しております。
南会津	意見交換者	その他	海産物等の廃棄物を堆肥に活用するなど、農林漁業でのコラボをもっと進めるべきではないか。	県内には震災前となってしまうが、貝殻を粉砕し、肥料として畑に散布していた例があります。 管内には畜産農家は少ないものの耕畜連携している例や樹皮から堆肥を生産している事業者があり、取組を広めたいと思います。
南会津	意見交換者	その他	国の方針により、公共施設等を建築する際は、国産材を利用するよう謳われているが、只見に建築されている広域消防署の出張所に関して、国産材の利用促進が図られていない。	公共施設における国産材の利用促進に関する法律が、H22年に制定、R3年10月には、公共施設だけでなく、一般の建物も木材を利用するよう、法改正がされています。これを受けて、県ではR4年4月に「ふくしま県産材利用推進方針」も同内容で改正しており、今後も県産材の利用促進に努めてまいります。
南会津	意見交換者	その他	林産材のセルロースやリグニンなどを活用したバイオプラスチックなど、新技術の研究開発を行って欲しい。	林産物を活用したバイオプラスチックについては、国や他県の研究開発や実証事例があることから、これらの知見の情報提供に努めてまいります。
南会津	意見交換者	その他	南会津では、条件のよいところは人工林にして管理できるが、それ以外は手が回らない。広葉樹林まで含んだ管理、水資源の確保が必要であるため森林(もり)の未来を考える懇談会で、現地調査や研究をして施策展開してほしい。	森林整備の推進に当たっては、水源涵養機能をはじめ森林の有する公益的機能の維持向上を図るとともに、木材生産コストの低減に繋がるような面的な集約化への支援を行っているところです。 引き続き、造林補助事業等を活用し、広葉樹林を含めた面的な森林整備の支援に取り組んでまいります。 ※森林(もり)の未来を考える懇談会は、福島県森林環境税を財源として取り組む事業について、意見や評価をいただく場として設置されています。
南会津	意見交換者	その他	農業従事者が少なくなっており認定農業者への手厚い支援は必要だが、そこに暮らす人は、集落の道路、水路維持に寄与してきた。これに考慮した施策展開も検討されるべき。	農道や水路の維持保全につきましては、引き続き多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金等による地域の共同活動への支援制度の活用を推進してまいります。
南会津	意見交換者	その他	グリーンツーリズム、農家民泊をやってきたが、その人たちも70才を超え、後継者も都市部に行っている状況。新たな都市部の方の受入、交流、情報発信をしていくとより販路の拡大にもつながると思う。	小規模農家民宿の受入促進を図るべく各種事業に取り組んでいるところ。町村や各受入地域協議会などの関係者と連携しながら進めてまいります。
南会津	意見交換者	その他	学校の統廃合が進む中、小中高等学校生が、機会あるごとに、南会津の農林業や自然、文化に触れる体験をさせていくことによって、就農者も増えるのではないかと。	農林事務所としても、小学生を対象とした「田んぼの学校」や高校生を対象とした「フレッシュ農業講座」に取り組んでいます。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
南会津	意見交換者	その他	県農林水産業振興計画にある「業種を超えた取り組み」として、ほ場整備事業では、建設業との関わりがあるように、他産業との連携を積極的に行い、いろいろなことができれば、南会津地域をさらによくなると思う。	地域の活性化のためには産業全体の施策振興が良いサイクルで回ることが必要です。予算・事業という視点では担当する部局が制限されてしまいますが、産業全体の振興については、農林水産業振興計画以外にも県総合計画等に基づきしっかりと地方別の課題・施策に取り組んでまいります。
南会津	意見交換者	その他	農業の形態は、都市部と中山間地域とで大きく変わると考えている。南会津では、農家がスキー場で働いたり地域の商業も支えており農業外とのつながりが大きい。移住先として選ばれないのはなぜかなど、マイナス部分を含め、教育や地域づくりにも農林水産部として意見を収集・蓄積して、教育委員会などにも意見してほしい。	新規就農者が移住先として、南会津地域を選択しなかった人の意見を聞くべきという点について新しい視点であることから、今後、積極的に情報収集を実施したいと思います。
相双	意見交換者	復興	万全な風評対策と併せ、廃炉と漁業を両立できるよう、漁業関係者との対話等の漁業者のなりわい継続に向けた支援を求める。	国に対し万全な風評対策を求めている。漁業者への支援としては生産から流通、消費に至る水産業全体を捉えた対策を国と連携し講じてまいります。
相双	意見交換者	復興	品目の選定や農業基盤復旧に時間がかかる等、中山間地域の営農再開はこれまでとは異なる対応が必要なため、関係機関の支援が必要である。	農業水利施設の復旧の進め方の検討や、円滑な経営再開のための農地条件に合った新たな品目の選定等の支援を関係機関と連携して進めます。
相双	意見交換者	復興	帰還困難区域に残る山林対策に触れるべきではないか。	帰還困難区域では空間線量率が特に高く、森林の調整や整備等について見合わせているが、具体的な山林対策を講じることが難しい状況です。
相双	意見交換者	復興	避難指示や、作業員減少などで森林の適切な維持管理が重要な課題。森林整備の推進と林業就業者の育成・確保の取組をお願いしたい。	引き続き、ふくしま森林再生事業の継続を国に要望してまいります。林業従事者確保を目的として林業アカデミーふくしまでは長期研修を開講しています。
相双	意見交換者	担い手	農業を目指す若者が農業に取り組むため、離農した又は離農予定の農地を活用できるよう土地利用の規制緩和が必要ではないか。	新規参入者の土地利用促進の観点から農地法が改正され耕作しなければならない下限面積の要件が廃止されました。
相双	意見交換者	担い手	新規就農者への住環境整備や様々な課題解決をするための行政指導の強化が必要ではないか。	今年度より県ふくしまぐらし推進課において「住まいコンシェルジュ」を設置する。移住コーディネーターとも連携して相談対応を強化します。
相双	意見交換者	担い手	技術者の大部分が避難先で生活を送る中、新規就農者への技術指導が難しい。農業の技術指導の強化が必要ではないか。	関係機関とともに技術支援活動を行っているほか、JAで実施している就農希望者を対象とした先進農家への研修制度の取組等も広めていきます。
相双	意見交換者	担い手	避難地域の連携を図るとともに、新規就農者協議会などを立ち上げ、課題の吸い上げや課題解決に向けたフォローアップが必要ではないか。	「相双地域新規就農・企業参入推進検討会議」を設置し、構成員であるJA、市町村、県及び指導農業士等が連携して、新規就農者の確保・育成に努めています。
相双	意見交換者	担い手	移住のハードルは高いため、1ヶ月～1年単位を目安として、働きながら地域を知ってもらうようなお試し移住制度があるとよいのではないか。	県ふくしまぐらし推進課にて数日や1ヶ月単位の移住体験ができる住宅を情報発信しています。当所も短～中期程度のお試し就農を提供しています。
相双	意見交換者	担い手	新規就農移住者は、農機具が保管可能な戸建てを希望するが、適当な物件が少ない。移住政策とも連携した住宅確保の仕組み構築が必要である。	今年度より「住まいコンシェルジュ」を設置し、移住コーディネーターとも連携して相談対応を強化しております。空き家改修等の支援事業も活用できます。
相双	意見交換者	担い手	新規就農者が金融機関の審査等の資金調達で苦労するケースがある。実現性の高い営農計画作成に向けて関係機関で連携する必要がある。	実現性の高い就農計画となるよう、より一層関係機関と連携しながら支援してまいります。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
相双	意見交換者	担い手	移住定住・就農支援制度の内容確認をしない移住者がいる。新規就農者の円滑な確保のため、関係機関の連携・情報共有を図る必要がある。	これまで以上の関係機関の連携・情報共有を図るとともに、参入就農者に各関係機関から丁寧に事業の説明するなど対応を検討します。
相双	意見交換者	担い手	県内外からの担い手の確保を強化するため、基盤整備の必要性の検討、モデル地区の設定、流通体制の構築と持続的な支援が必要である。	営農再開とあわせ省力化や安定生産に結びつく農地活用・対策を関係団体へ提案し話し合う検討会を実施しています。
相双	意見交換者	担い手	新規就農者(移住者)の住居の確保を農林水産業振興計画に入れて施策推進願いたい。	移住者の住居確保に関しては、福島県総合計画において「移住・定住の推進」を推進していくこととしており、新規就農に伴う移住希望者への支援もしっかりと取り組んでまいります。
相双	意見交換者	担い手	担い手確保のために教育機関側で活用可能な事業(学生を送り込むような事業)が必要である。	農業研修を実施している。学生のみが対象ではないが、これを活用した高校生対象の農業法人におけるインターンシップが実施されています。
相双	意見交換者	担い手	新規就農者のために労働時間や生産費用等を示し、生產品目を選択しやすい環境づくりが必要である。	「福島県相双地域おすすめ品目の経営指標や生産基盤モデル地区における経営類型」を新規就農相談時等に活用しています。
相双	意見交換者	担い手	協力事業体の応援を得ているが、作業員は単身赴任している。家族同居できる住環境の整備が持続可能な協力体制につながると思う。	今年度より県ふくしまぐらし推進課において「住まいコンシェルジュ」を設置しており、移住コーディネーターとも連携して相談対応を強化しております。
相双	意見交換者	担い手	外国人人材の確保が必要。人材確保に係る経費等への補助が必要ではないか。	「人材確保等支援助成金」制度により、受け入れ企業や研修生の外国人への支援を行っているので、ハローワーク等に相談願います。
相双	意見交換者	担い手	制度や現地の様子を知る市町村担当職員が極めて限定的または、いない。職員のスキルアップや体制強化のための支援も必要ではないか。	市町村職員のスキルアップのため、地区別研修会等を企画しております。林業アカデミーふくしまでも、市町村林務職員向けの講座メニューがあります。
相双	意見交換者	担い手	担い手確保のためには、住環境を整備する必要があるため、人材育成、安全装備品、住環境等の費用に森林環境譲与税を活用できないか。	森林環境譲与税は森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保するため導入されたもので市町村の独自財源であるため、市町村と十分に協議願います。
相双	意見交換者	担い手	林業の人材不足を補うため、緑の雇用制度は有意義なものであるため、継続してほしい。	要望として承ります。新規の林業従事者確保を目的として林業アカデミーふくしまでは長期研修を開講しています。
相双	意見交換者	生産基盤	水田活用直接支払交付金の厳格化について、元来用水の確保が難しい等の条件下にある農地もあり、経営に支障が出る恐れはないのか。	県では5年水張りルールに関して、被災12市町村については全国一律の運用としないよう国へ要望しています。
相双	意見交換者	生産基盤	大区画の基盤整備地区外の水田においても、生産者が排水対策などの畑地化に取り組みやすいよう、支援を求める。	畑地かんがい施設の整備や農地の排水改良などのハード事業と専門家による助言指導などのソフト事業を行える事業が創設されています。
相双	意見交換者	生産基盤	長年活用していないために通水した際に漏水や水道管の破損等が起き、営農再開が遅延することがあるため、事前のインフラ整備が必要である。	営農再開の拡大に合わせて、国、県、市町村、土地改良区が連携し、現況確認や必要に応じた補修工事を行っています。
相双	意見交換者	生産基盤	維持管理が容易な(草刈り不要な法面)法面の導入等を検討いただきたい。	整備費用等も考慮しながら、地域に合った法面の整備手法を検討します。
相双	意見交換者	生産基盤	被災地域の森林再生のためには、ふくしま森林再生事業の継続が求められるため、国に対し、事業の継続、予算確保を求めるべき。	令和7年度までの継続は決定しているが、相双地域は原発事故の影響で森林整備まで相当な期間が必要であるため、国に継続を要望してまいります。
相双	意見交換者	生産基盤	森林整備を行った地区では、継続した森林整備のため森林経営計画の策定が必要。計画作成に向けた指導研修会を開催してほしい。	森林経営計画策定の支援(森林整備地域活動支援交付金等)を継続していきます。計画策定のための研修会を予定しております。
相双	意見交換者	生産基盤	J-クレジット制度に取り組む利点があるため、取り組みたいと考えている。J-クレジット制度について、取り組み方などの指導をお願いしたい。	県内外における取組や先進事例の情報収集等を行い、林業事業者への情報提供等を予定しています。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
相双	意見交換者	生産基盤	1日でも早く県産原木が、使用できる体制づくりをお願いしたい。	広葉樹林再生事業やコナラ萌芽に含まれるCs濃度の継続調査を実施します。引き続き、県産原木の使用を目指して事業の実施を支援してまいります。
相双	意見交換者	流通・販売	トラック等の輸送手段の確保、運賃補助等の支援が必要である。	集出荷施設の整備とともに、産地の復興に応じた効率的な集出荷や物流体制について関係機関とともに検討しています。
相双	意見交換者	流通・販売	行政側に販路確保のための専門部所の設置が必要である。	農産物の販路確保に係る担当を農産物流通課及び農林事務所企画部に設けています。
相双	意見交換者	流通・販売	物流は農業生産等に直結したものである。相双地域においては物流が不足しているため、広域的につなぐ物流の充実化が必要ではないか。	集出荷施設の整備とともに、産地の復興に応じた効率的な集出荷や物流体制について関係機関とともに検討しています。
相双	意見交換者	流通・販売	GAP取得農産物の販路確保が必要である。	イベントにてGAPの取組とGAP取得農産物のPRを実施している。生産者と実需者のマッチングを強化するなど、販路確保に努めていきます。
相双	意見交換者	流通・販売	地産地消により、流通コストをかけず、流通にかかる日数を減らし、販売コストや販売価格を上昇させることが必要ではないか。	イベント等で地産地消に取り組んでおります。引き続き、消費者等の県産農林水産物に対する理解促進と消費拡大に努めていきます。
相双	意見交換者	生産	新たな産地形成に向けては、種苗代、肥料代、農機具などの資機材導入への支援強化が必要ではないか。	復興関連事業や「風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業」等において資機材の導入が可能で、農業者等の意向を踏まえて支援してまいります。
相双	意見交換者	生産	ハウスピニール、マルチ等の廃棄処分費用に対する無料化または補助が必要である。	「農業用使用済プラスチック処理推進事業」においてマルチ等の資材活用、生分解性プラスチックの利用などによる排出量抑制等の取組を支援します。
相双	意見交換者	生産	南相馬市の飼料用米生産においては、「ふくひびき」の収量に海側と山側で差が生じる。相双地域として推奨できる品種の情報を知りたい。	耐冷性が強い品種として「まいひめ」の特認品種認定に向け国と調整しており、認定され次第情報提供いたします。
相双	意見交換者	生産	鮭の増殖基盤の強化に取り組んでいるため、鮭の回帰率の向上に向けた技術開発や指導に対する支援の検討を求める。	関係道県と連携し、ふ化放流事業の継続に必要な卵の確保を進めております。ふ化放流技術の開発等、調査研究の充実・強化を国に要望しています。
相双	意見交換者	生産	他地方に整備される牧場の堆肥や消化液等の活用など、堆肥等の流通において広域的なストック施設が必要ではないか。	双葉地域内での飼料供給や堆肥利用の融通を図るための会議を設置しました。堆肥のストック施設では福島再生加速化交付金の活用が可能です。
相双	意見交換者	生産	必要であればスマート農業機械の導入を検討していきたいが、知見が乏しいため、導入に向けて関係機関と相談していきたい。	県においてはスマート農業を推進しております。先進事例を収集し、情報提供してまいります。
相双	意見交換者	生産	林業機械は高額なため、新規参入する事業者は経営負担が大きく、購入できない。自治体によるリース事業や購入助成の拡充が必要である。	林野庁の補助事業の活用が考えられるので、相談いただきたい。購入助成の拡充に関する意見として承ります。
相双	意見交換者	農山漁村	生産物の価値を高めるために、6次化支援についても強化し、農家として生業になるよう総合的な指導が必要ではないか。	ふくしま地域産業6次化戦略に基づき、6次化サポートセンター等と連携しながら、商品づくりの支援や仲間づくり、人材育成を行うとともに、各農林事務所に相談窓口を設置すること等により総合的な支援を行ってまいります。
相双	意見交換者	その他	減少する人口に対し、食料増産政策を取っているため、農産物の価格は上がらない。構造的に抜本的な改革が必要である。	産地競争力強化に必要な生産ロット確保や品質向上のための支援、地域の特性にあった品目導入による産地化とその拡大に取り組んでいきます。
相双	意見交換者	その他	農産物のモニタリング結果が出るまで時間がかかりすぎる。収益機会の損失が小さくない品目もあるので、対応できることはないか。	農産物の生産状況を適宜関係者間で共有しながら検査日を調整して、出荷等への影響が無いよう、効率的にモニタリングを実施します。また、米や穀類については令和5年度より検査の点数の見直しを行うなどしながら、確実かつ効率的にモニタリングを実施してまいります。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
相双	意見交換者	その他	農業法人のホームページ更新費用等の補助が必要。	ふくしまプライド。県産農林水産物販売力強化支援事業にて、ホームページの更新・作成が可能であるので、相談願います。
相双	意見交換者	その他	農地再生を進める上で遊休農地対策が重要であるため遊休農地対策事業の拡充を求める。	現在、遊休農地の再生利用を支援する「遊休農地等再生対策支援事業」、「遊休農地解消緊急対策事業」、地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地と粗放的な利用を行う農地等を区分し、実証や条件整備などを支援している「最適土地利用総合対策」等の支援事業がありますので、各農林事務所へ相談願います。
相双	意見交換者	その他	今後の広葉樹林再生事業の計画は相双地域ではどのようになっているのか。	空間線量率が低減した広葉樹林において、しいたけ原木林の再生を目指す場合は、当該事業による実施を考えています。
相双	意見交換者	その他	広葉樹林再生事業完了地では、コナラ等の放射能濃度はどのくらい低減しているのか。	モニタリング調査1年目(平成25年度)336Bq/kgから3年目115Bq/kgと大きく低下。その後は漸減傾向で推移し、10年目で62Bq/kgとなっています。
相双	意見交換者	その他	ふくしま森林再生事業はどのような計画で進められるのか。	被災12市町村は放射性物質の影響が強く、森林再生の取組が道半ばの状況であり、森林の持つ公益的機能の維持・向上につながる森林整備を実施します。
相双	意見交換者	その他	花粉症対策としての低花粉スギの供給体制整備について、具体的な予算化、事業化等は考えているのか。その場合の財源はどうなるのか。	一般財源や国庫補助による花粉の少ない森林づくり事業によりR4は2,700本の苗木を挿し木を実施しました。
相双	意見交換者	その他	ふくしま森林再生事業の制度が年度途中に変更され、大変困惑している。市町村の実情に応じて制度設計してほしい。	現場の抱える課題等については引き続き検討してまいります。
相双	意見交換者	その他	ふくしま森林再生事業における振分土場の取扱について	管内の振分土場については、設備や実施体制等を考慮して選定しているが問題があれば相談願います。
いわき	意見交換者	担い手	せっかく就農してもやめてしまう方もあり、危機感を感じている。一から農業を始めるとなると莫大なエネルギーと費用がかかるため、農業をやめた人等からの農機具等の継承など、相談窓口を充実させる必要がある。	昨年度から「いわき地域新規就農者等推進会議」を設置し、構成員であるJA、市、県及び指導農業士等が連携して、新規就農者の確保・育成に努めています。 ご提案があったことについては、前述の推進会議等で情報を共有し、継承可能な施設や農機具等の掘り起こしについて検討してまいります。
いわき	意見交換者	担い手	新規就農者に対する持続的な支援と併せ、現在就農している人に対しても長期的に持続できるような支援をお願いしたい。	減少する農業者の確保等については、ご指摘のとおり新規就農者の確保に加え、定着に向けた支援が重要なことから、国の支援施策「新規就農者育成総合対策」の活用のほか、いわき地方の関係機関や県農業経営・就農支援センターが連携して、栽培技術の指導や経営が安定するまでの伴走支援等に取り組んでまいります。
いわき	意見交換者	担い手	新規就農者がなかなか地域に溶け込めずにやめてしまうことがあるので、新規就農者のネットワークや地域住民との交流に対しても支援をお願いしたい。	いわき管内では、若い農業者が品目を超えて研修や食育活動等を行っている「いわき農業青年クラブ」があり、当事務所ではその活動を支援しています。新規就農者に対しては、クラブへの加入を勧め、地域に溶け込めるよう支援してまいります。
いわき	意見交換者	生産基盤	基盤整備実施の際は、農地の整備と施設の整備を同時並行で進めるなど、事業の進め方は地区の意見を聞きながら柔軟に対応してほしい。	基盤整備と併せた施設整備は、安定した農業経営に向け重要であると認識しております。一方、基盤整備中は、換地による個人の権利が定まっていない状況であり、施設整備にあたっては制約を受けることもあります。地元の意見・要望を踏まえ、制度に照らし、できる限り対応してまいります。

県内7地区での意見交換会における主な意見と県の考え方

地域	発言者	分野	意見等	県の考え方
いわき	意見交換者	生産基盤	森林資源が充実しているにもかかわらず、路網整備が遅れている地域がある。効率的な作業のため、路網整備の促進をお願いしたい。	林道開設事業については、これまで整備した林道を起点とした林業専用道の整備を中心に実施しており、作業道開設と併せて効率的な森林整備につながるよう路網整備を実施しています。 林道事業はいわき市が要望を取りまとめ、優先順位の高い順に実施しているため、森林所有者等から林道に関する相談があった場合は、まずいわき市に相談するよう指導しています。
いわき	意見交換者	流通・販売	高校生のアイデアを生かして6次化商品を開発する事業については、食育にもつながるので、継続してほしい。	高校生と連携した6次化商品開発は、いわきならではの事業であり、教育機関からの要望もあることから、継続して実施してまいります。
いわき	意見交換者	生産	GAP取得のメリットがわかりづらいため、取得が農家のためになるよう消費者への更なるPRをお願いしたい。	GAPの取組については、すぐに農産物等の価格に反映されるものではありませんが、生産面では、記帳や在庫管理による生産資材の削減が可能となるほか、従業員の労働安全性の向上などのメリットについて、わかりやすく説明してまいります。 また、量販店等で実施している農林産物のPRイベントにおいてGAPの取組を紹介するなど、認証GAPへの理解促進を図ります。
いわき	意見交換者	その他	いわき市で市産木材を使って住宅を建てるとポイントがもらえる制度がある。他県で福島の木材の良さを知ってもらうため、地産外消の取組も検討してほしい。	県産材の利用促進に向け、品質性能を明確にするJAS認証の取得や木材利用の新技术・新製品の開発、販路拡大の取組を支援します。また、県外の消費者に対するマーケティングについては、他県の取組を参考に検討します。
いわき	意見交換者	その他	林業に関しても、燃料費等の高騰の影響を受けながら、担い手を確保するためには、安定した経営がなければつながらない。木材流通の活性化、需要拡大、森林整備事業の継続をお願いする。	今後も森林整備や木材製品需要拡大等の支援事業を継続してまいります。